

## 《研究課題名》

Ex-PRESS®を用いた緑内障濾過手術の角膜内皮細胞に対する影響

## 《研究対象者》

滋賀医科大学附属病院眼科にて2013年1月1日から2016年12月31日までにEx-PRESS®を用いた緑内障濾過手術を受けられた患者さんの内、3年以上通院されている方。

## 研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医科大学で既に保有している情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法是以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

## (1) 研究の概要について

### 《研究課題名》

Ex-PRESS®を用いた緑内障濾過手術の角膜内皮細胞に対する影響

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2021年12月31日

《研究責任者》 滋賀医科大学 眼科学講座 森 崇正

## (2) 研究の意義、目的について

### 《意義》

Ex-PRESS®による濾過手術の長期的な合併症の有無を検討することで、より適切な術式選択ができるようになります。

### 《目的》

Ex-PRESS®を用いた緑内障濾過手術における長期合併症である角膜内皮細胞の減少の有無について検討します。

## (3) 研究の方法について

### 《研究の内容》

該当患者について当院の電子カルテ上の既存情報のデータを収集します。収集するデータは術前、術後の角膜内皮細胞の数、合併症の種類、緑内障の病型などです。これらのデータを解析し、Ex-PRESS®を用いた緑内障濾過手術の角膜内皮に対する安全性を検討します。

## 《利用する試料・情報の項目》

検討項目：術前、術後の眼圧、年齢、性別、手術日、合併症、角膜内皮細胞数

## 《試料・情報の管理について責任を有する者》

眼科学講座 森 崇正

### （４）個人情報の取扱いについて

本研究を実施する際には、個人を特定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして、ご提供いただいた情報が誰のものか分からない状態にして使用します。ただし、必要な場合に個人を特定できるように、対象となる方とその方の情報を結び付けることができる対応表を作成いたしますが、この対応表は施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

### （５）研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

### （６）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

### （７）利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、2020年12月31日までに下記（８）にご連絡ください。

### （８）本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 眼科学講座 森 崇正

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2276

メールアドレス：projectg@bellle.shiga-med.ac.jp